

市民レポーターがWebを使ったレポートの発信

地域・・・越中大手市場実行委員会
企業・・・ネットヨタ富山
行政・・・富山市 広報課

富山の「商店・行政・地域行事」を”楽しみながら”取材/記事編集する市民チーム

私たちの身の回りのことを”楽しみながら”
「一緒に考え・共有し・発信する」



越中大手市場実行委員会
会長 秋吉克彦さんにインタビュー

まちのにぎわいを「イベント」から「平常・日常」に変えていきたい。特別なイベントごとではなく、生活の一部に人と人が出会うきっかけをつくる。



「大手町はまちなかのポテンシャルの高い土地。(近くに城がある、交通も便利、でも静かな場所)自分はこの土地が好きだし、愛着がある。その場を殺し損にはしたくない。もっと素敵な場にしていきたい。続けていくことで改善していくことができる。やめたらそこでおしまいでしょ。」

ネットヨタ富山株式会社様
代表取締役社長の笹山氏にインタビュー

貴社の取り組みは、地域や社員一人ひとりまでにも目を向けていた。



CSR 活動。企業が社会的責任として行う活動のことです。ネットヨタ富山さんでは、この活動の一環として地域清掃を行い、企業が立地している地域にも貢献をしたいとのことでした。ここ数年では、地域清掃とイベントのように開催して参加特典などにオリジナルのトングや軍手を配布もしている！

富山市役所広報課
佐伯 哲弥さんにインタビュー

富山を元気にするセミナー【シビックプライドの大切さ】に参加して
「富山を愛するにはまず富山を知ること」



「知ることで好きになれる」シビックプライドの大切さでは、どうして富山でシビックプライドが重要なのでしょう。結論から言うと、定住人口の維持・増加が理由です。

富山シティエフエムで毎月最終週は「市民レポーターと語る富山のコト！」 市民レポーターが富山の面白いモノ、コト、人を紹介。



翔さんにスポットを当てて特集します。[4面に関連広告]

[withRadio] 内「輝トキト」月～木 10:40～
最終週は「市民レポーターと語る“とやまのコト！”」

「住みやすく・動きやすく・遊びやすい富山」を創ることを目的としたボランティア団体「富山応援隊」メンバーが、街なかの商店やイベントを熱く紹介します。



2015年、すべての国が参加する形で、20

A central graphic element featuring text and a photograph. The text describes a special feature on a radio program. The photograph shows a group of people, identified as the 'Toyama Support Team', standing in front of a building. Below the photo, there is a green map of Japan with the island of Honshu highlighted in green.